

泊まれるレストラン。
そんな使い方もできます

HATAGO井仙の2階にあるレストラン。
地元魚沼の食材を使い、素材の持ち味を
引き出した創作料理が楽しめます。
ランチはコースのほか定食や丼を釜炊き
コシヒカリとともに、ディナーはコースで、どうぞ。



HATAGO井仙 2F
ご宿泊以外の方でも、ランチはもちろん
ディナーや朝食もご利用いただけます(要予約)。
詳しくはHPをご覧ください。
定休日/水曜



魚沼の大地の恵みを
地酒、地ワインとともに

コシヒカリ、山菜、きのこ、季節の野菜、川
魚。「そのま」がおいしい魚沼の食材を、
ふんだんに使った創作料理には、雪国の
清らかな水で醸される地元の日本酒や
ワインを合わせて。南魚沼市、青木酒造
の「鶴齢」とコラボしたオリジナル無濾過
生原酒「仙七」もぜひ。



特別栽培米を釜炊きで

「むらんごっつお」でお出しているのは、魚沼産
の中でもっともおいしいと言われている塩沢地
区のコシヒカリ。契約農家が減農薬で作ったお
米を店内の釜で炊き上げています。



パティシエの作るスイーツも

「むらんごっつお」にはパティシエがいます。
コース料理のデザートや1階のカフェスベ
ース「水屋」で提供しているスイーツは、毎日
「むらんごっつお」のオープンキッチンで作っ
ています。

魚沼の「おいしい」を
お持ち帰りください

HTAGO井仙1階にある「んまや」では、
レストラン「むらんごっつお」で提供した食材をはじめ
魚沼のおいしいものをおすすめしています。お土産にもどうぞ。

HATAGO井仙 1F



温泉 珈 琲
水 屋
M I Z U Y A

「んまや」隣にあるカフェスペースでは、温泉水を使って
水出した温泉珈琲と、米粉を使ったしっとりふんわり
スイーツなどを召し上がっていただけます。

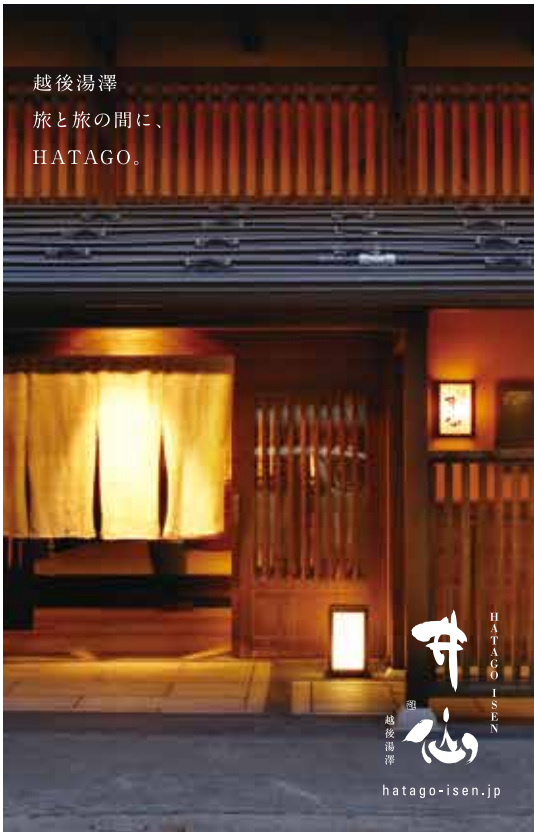
HATAGO井仙 1F



雪国を感じる
古民家ホテル

HATAGO井仙の兄弟宿です。
日本でいちばん雪の積もるエリアで
ひとときのなかで地の滋味を味わう。
HATAGO井仙から参加できるアクティビティも。

南魚沼市六日町 <https://ryugon.co.jp>



囲炉裏の
空間

フロントの隣りには囲炉裏のある板
間。到着後、炉端に座ってひと休み
したり、食後、ソファでくつろいだり。
ゆったりとした時間を約束します。



アルカリ性温泉を
源泉かけ流しで



無色無臭のさっぱりとしたアルカリ
性単純泉を24時間掛け流しにし
ています。14時から翌朝10時まで、
好きな時間にゆっくりご堪能くださ
い。廊下はすべて畳敷き。素足で
過ごしていると、いっそうくつろげ、
懐かしさも湧き上がります。

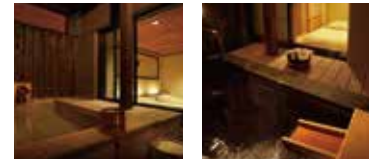
HATAGO井仙の外にある
「足湯」は、ご宿泊されない
方でもご利用いただけます。



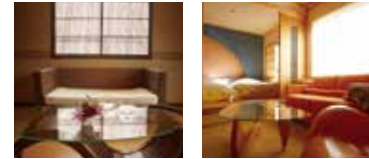
過ごし方で選んでください。
8タイプ16部屋のHATAGOです

いろんな過ごし方ができるように、いろいろな部屋を用意しました。
旅の目的に応じて、過ごしたい時間に合わせて、お選びください。

露天風呂の間 2室(雅 MIYABI、響 HIBIKI)



うたたねの間 2室(煌 KIRA、宙 SORA)



書斎の間 3室(吟 GIN、創 SOU、凜 RIN)



桜 SAKURA

オープンキッチンのある広間。たと
えば山菜やきのこ狩りの後、収穫物
を目の前で調理してもらい、味わう。
あるいは気の合う仲間たちで集う。
いろいろな楽しみ方ができます。

囲炉裏の間 2室(懐 KAI、樂 RAN)



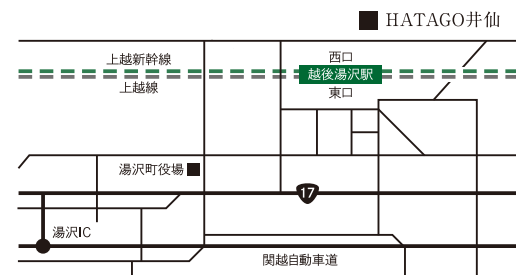
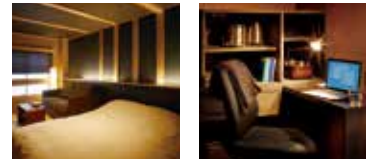
茶室の間 (禅 ZEN)



和室露天の間 3室(稜 RYOU、駿 SHUN、翔 SHOU)



湯治の間 2室(郷 GOU、蜚 KEI)



越後湯澤 HATAGO 井仙
〒949-6101 新潟県南魚沼郡湯沢町大字湯沢2455
E-mail info@hatago-isen.jp
代表電話 025-784-3361

●お車でお越しの方
関越自動車道・湯沢 IC より、国道17号線から湯沢温泉街へ向かい2分。
JR 越後湯沢駅西口ロータリーすぐ前。

●上越新幹線でお越しの方
上越新幹線で、東京駅から約80分、新潟駅から約60分。
JR 越後湯沢駅下車、西口ロータリーすぐ前。

ご予約・お問い合わせ(フリーダイヤル) | ファックスでのお問い合わせもどうぞ
0120-850-039 | 025-784-2013
(受付時間 午前9時～午後6時)

hatago-isen.jp



ひたすら籠る。
別荘のように、
書斎のように



たとえば週末。仕事終わりに新幹線でふらりと
HATAGO井仙へ。読みかけの本を片手に、や
りかけの仕事とパソコンを持って、あるいは見た
かったDVDとともに部屋に籠る。別荘のように、
書斎のように使ってください。